

4月28日（月） 令和7年度春季リーグ戦第4節3回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
神医大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

大阪公立大学(3塁側)

対

神戸医療未来大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	3	府立生野	5	2	1	
2	遊	疋田	4	広島新庄	3	0	0	
3	右	前田	3	須磨学園	5	2	0	
4	一	菱田	2	関西大倉	3	0	1	
5	左	林	2	大阪明星	4	2	0	
6	指	田中創	3	金沢桜丘	3	0	0	
7	三	田中大	2	彦根東	3	0	0	
8	二	樋口	4	刈谷	3	1	1	
9	捕	小田竜	4	県立伊丹	4	2	0	
投		田中綾	4	市立西京	-	-	-	
		川田	3	奈良県立郡山	-	-	-	
		山本	3	清教学園	-	-	-	
		利川	2	西大和学園	-	-	-	
		片山	3	府立池田	-	-	-	
		宮田	2	倉敷青陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	3	4	0	1	33	9	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	廣瀬	3	高知中央	4	0	0	
2	三	直野	4	藤井学園寒川	2	0	0	
3	二	岩城	2	彩星工科	4	1	0	
4	指	岩本	2	山梨学院	5	1	1	
5	左	合田	2	社	4	0	0	
	打	前田	3	鹿屋農業	1	0	0	
6	一	疋田	4	聖カタリナ学園	4	3	0	
7	捕	空處	4	生光学園	4	2	0	
8	遊	山口	2	明秀学園日立	2	0	0	
	打	記	3	済美	1	0	0	
	遊	國部	3	花咲徳栄	0	0	0	
9	右	日笠	1	おかやま山陽	2	0	0	
	打	津島	3	栄徳	1	1	0	
	走	井手彩	4	帝京	0	0	0	
	右	柳澤	2	誠恵	0	0	0	
投		岡田	1	鳴門渦潮	-	-	-	
		越智	4	小松	-	-	-	
		八田	3	広陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	1	6	1	0	2	34	8	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
田中綾	4	58	18	15	3	0	3	0	0
川田	1/3	13	3	2	1	0	1	1	1
山本	1 2/3	17	8	6	2	0	1	0	0
利川	1	11	3	3	0	0	0	0	0
片山	1	23	6	5	2	1	1	0	0
宮田	1	6	3	3	0	0	0	0	0
合計	9	128	41	34	8	1	6	1	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
岡田	7	93	29	25	8	2	0	3	3
越智	1	27	5	3	0	1	2	0	0
八田	1	23	6	5	1	1	1	0	0
合計	9	143	40	33	9	4	3	3	3

【戦評】

今節こそは勝ち点を掴み取るため、勝利への執念をもって挑みました。

本日の先発は田中綾（工4・市立西京）。初回、2回とランナーは出すものの、落ち着いて後を抑え、先制点を与えません。

一方の攻撃は2回、林（工2・大阪明星）が安打、田中創（法3・金沢桜丘）がフィルダースチョイスで出塁します。続く田中大（経2・彦根東）が初球で犠打を決め、一死二三塁のチャンス。ここで樋口（工4・刈谷）が犠牲フライを放ち、1点を先制します。

3回表、田中綾は二死から2つの四球と盗塁でピンチを背負います。しかし、ここは田中大の好守により後を打ち取り、無失点とします。

追加点を取りたい攻撃ですが、相手投手の好投の前に3～5回は三者凡退に終わります。

5回からは田中綾に代わり川田（理3・奈良県立郡山）が登板します。一死を奪うも、死球、安打で一三塁のピンチ。ここで川田はマウンドを降り、山本（文3・清教学園）に託します。適時打で1点を失いますが、後を抑え、最少失点で切り抜けます。山本は6回も、巧みなコントロールで無失点に抑えます。

6回表、先頭の根来（経3・府立生野）が安打で出塁すると、主将足田（工4・広島新庄）が見事な犠打を決めます。続く前田（現3・須磨学園）も安打で繋ぎ、チャンスを広げます。ここで4番菱田（農2・関西大倉）の放った打球はセンターへのフライ。ホームは際どいタイミングでしたが、根来の快足が勝り、勝ち越しに成功します。

さらに7回表、二死から樋口、小田竜（工4・県立伊丹）、根来の3連打で貴重な1点を追加します。

7回裏、マウンドに上がった利川（経2・西大和学園）は、テンポの良い投球で相手打線を抑え込み、三者凡退とします。

8回からは片山（生3・府立池田）がマウンドを任せられます。2本の安打と四球で満塁のピンチを招きますが、気迫のこもった投球で得点を与えません。

さらに相手に畳み掛けたい8・9回の攻撃ですが、四球や安打でランナーを出すものの、あと1本が出ず、得点には結びつきません。

あとは守るだけの9回裏、宮田（工2・倉敷青陵）がマウンドを託されます。宮田は持ち前の力強い投球で3人を抑え、試合終了。3-1で勝利し、勝ち点を1と致しました。